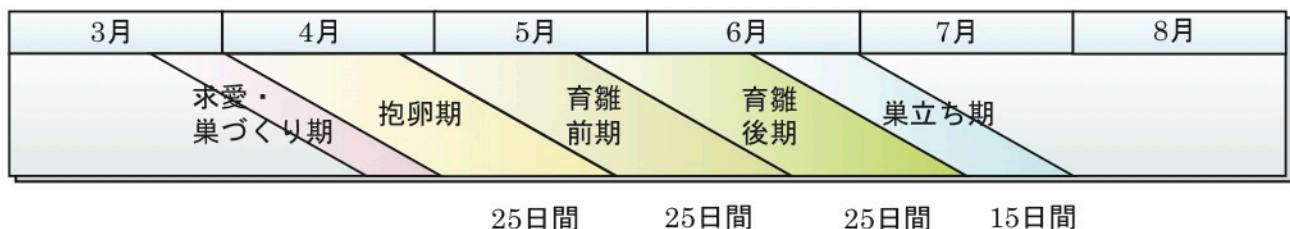


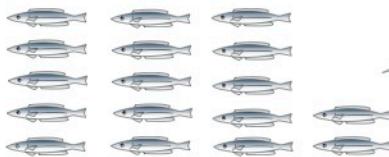
# アオサギ観察会

2005年5月27日

下の表は北海道での平均的な子育て期間です。同じコロニーでも早くから巣作りを始めたサギとのんびり始めたサギとではひと月以上も差があります。巣作りから完全に巣立ちを終えるまで100日ていど、今は折り返し点を少し過ぎたところですね。



ところで、大人のアオサギが一日に食べる餌の量は約270gと言われています。これはくちばしサイズの魚であれば約17尾分。40cm近い大物が獲れれば1尾で十分です。



270g/日



ところがヒナが生まれると、これに加えてヒナたちの分も獲ってこなければなりません。ある報告によると、4羽のヒナのいる巣では1回あたり約250gの餌を運んだとされています。ひとつがいの親が運ぶ餌の量はひとシーズンでなんと100kg！ 平岡のコロニーに200つがいが暮らしているとすると、子育ての期間中にコロニーに持ち込まれる餌の量は…、

ともかく、すごい量です。